



令和7年7月2日 <7月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪ヌ6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



「多様な他者と協働する力」を育てるために

校長 池島 隆久

加賀地区大会兼県大会予選では、みなさんの頑張りを見ることができました。そして、たくさん感動しました。それぞれの部やクラブで仲間と練習を重ね、当日は力を出し切ったことと思います。目標に届かなかった人もいるかもしれませんが、その過程で得た経験は、必ず、成長の糧となります。サポートに回った生徒も含め、全員の努力に心から拍手を送ります。

さて、1学期も残すところ1か月を切りました。6月はテストもあり、心身ともに疲れが出やすい時期でしたが、それを乗り越えた今こそ、1学期をどう締めくくることが大切です。

本校では、「未来を切り開く力をもった生徒の育成」を目指して教育活動に取り組んでいます。これを支える4つの力のうち、今回は「多様な他者と協働する力」に注目したいと思います。

仲の良い人と協力するのは楽ですが、社会では年齢や背景、考え方の異なる人と協力する場面が多くあります。だからこそ、「自分と違う価値観の人と、どう向き合うか」を意識することが、これからの時代を生きるうえで大切になります。

その力を育てるためには、まず相手の話を最後まで聴こうとする姿勢が必要です。そして、自分と違う意見にも「なるほど、そういう考え方もあるのか」と受け止めてみる。さらに、自分の考えを伝えるときには、誤解を防ぐ工夫や伝わっているかを確認する姿勢も欠かせません。加えて、チームで活動する場面では、「自分の役割を果たす」「意見の違いをすり合わせる」「チーム全体のために行動する」といった力が求められます。これらは、やり方を知り、経験を重ね、失敗を通して学ぶ中で少しずつ身についていくものです。日々の学校生活そのものが、そうした力を育てる場でもあります。

7月は、1学期のまとめと次のステップへの準備期間でもあります。自分の課題に向き合い、誰かと協力して取り組む時間にしていきましょう。

最後に、この言葉を紹介します。

「ひとりでできることは限られている。でも、協力すれば、可能性は無限に広がる。」

◎ 基本的な姿勢

- ・あらゆる他者を尊重する
- ・違いを認める・受け入れる
- ・先入観や偏見を持たない
- ・相手の立場に立って考える

◎ コミュニケーションに関わる力

- ・相手の話をよく聴く（傾聴）
- ・自分の考えをわかりやすく伝える
- ・誤解を避けるために確認する姿勢
- ・建設的に対話・議論するスキル

◎ チームでの活動に必要な力

- ・役割を理解し、果たす姿勢
- ・意見が異なるときに、調整・折り合いをつける力
- ・目的を共有し、協力して行動する力
- ・責任をもって取り組む態度

多様な他者と協働する力 — まず意識したい4つのこと

- ① 人を見た目や噂で判断しないこと
→ 「あの人は・・・だからムリ」と決めつけてしまいがち。
でも、本当のことは話してみないとわからない。
- ② 自分とちがう意見や考えをすぐに否定しないこと
→ 自分の考えが正しいと思ってしまいやすいけれど、他の人にも理由がある。
- ③ 相手をバカにしない、悪口を言わないこと
→ 軽い気持ちでも、その一言が相手を深く傷つけることがある。
- ④ 「自分の意思で判断すること」を大切にする
→ 大切なことは何かと自分の頭で考え、行動することが協力の第一歩。

